

# 1981年の昆虫メモ

田 中 忠 次

## 1. ヤスマツトビナナフシの再発見

1988年筆者が昆虫界67にトビナナフシとして記載したのが本種で、下新川郡朝日町境と宇奈月町栃屋山地での採集記録しかない。長い間生息不明のまま今日に至っていたが、9月18日婦負郡八尾町祖父岳で1♀を採集することができた。これが本県における3頭目である。ちなみに本種は生息数が少なく、処女生殖をする種とされている。

## 2. ヤブヤンマの生息確認

8月26日の富山県自然博物館センターにおける標本同定会で、林梅夫館長から館内にはいりこみ死がいとっていた多数のトンボを見せて頂いた。その中にヤブヤンマが2♂♂5♀♀が混じっていた。

本種の本県におけるオリジナルな記録は小川温泉、文珠寺、呉羽山の古いものだけである。筆者所蔵の標本も虫害にあいなくなっており、本県生息を確認する標本がないのではないかと考えていた。今回実物が得られたのはその意味においても大きな収穫である。

## 3. ハツチヨウトンボ生息地の現況

富山県昆虫研究会編「富山県の昆虫」には9カ所の生息地を記録している。そのうち宇奈月町栃屋山地はハンノキの侵入により植生が変わり、生息が認められない。また福光町大西は数年前筆者が現地へ行った時の状況からみて絶滅した公算が大きい。八尾町深谷は現在も生息しているが、ミズゴケ採取に来る人のため減少している。上市町大岩は富沢章が記録したもので、生息地は現認していないが、生息地があるという情報を得ている。大沢野町万願寺のゴルフ場上部の発生地は長いイなどが密生するようになって激減し、現在の生息はあやしい。もう1ヶ所の大発生地は昨年ほせあがったことがあるということで、現在の生息は未確認である。小矢部市興法寺は本年3回も現地へ行ったが個体数は少なかった。本年は池の水が多く、発生場所も水没していたので今後の生息が気づかれる。婦中町長沢、福光町中の河内、庄川町三谷は加治外司三(故人)が記録したもので、筆者は現地を見ていないので生息は不明。1980年、城端町上見通称天竺谷で発生地が発見され、町長の裁断によってほ場整備から除外されたとの新聞報道があった。本年7月6日、県教委文化課の中田主事等と町からの案内で現地調査を行なった。しかしそこでは生息の確認はできなかった。場所を間違えたとも考えられるが理由はわからない。今後の情報待である。その数日後、小矢部市東大谷に発生するとのことで、発見者であり土地所有者の鷲田利四夫親子、県文化課中田主事その他の方と現地調査をし多数発生していることを確認した。その他では(括弧内は発見または通報者)婦中町の自然公園地内、千里地内(両地とも県自然保護課湯浅技師)、富山市城山ファミリパーク予定地内(富山大学自然環境保全グループ)、八尾町地内(正印清逸)、魚津市大谷

地内(長井真隆)で発生地が発見されている。

このように発生地が急に多く知られるようになったのは、過去の調査不足によるものかもしれないが、近年放棄田がでたり、土地の改変によって本種の生息に適する場所がふえたためと考えられる。しかし一方には植生の変化等により絶滅または激減した所もあり、環境の変化が鋭敏に影響していると感じさせられる。それにしても、わずかな距離しか飛翔しない本種が如何にして生息地をひろげるかは、まだじゆうぶんわかっていない。風によるものだろうか。

## 4. 朝日町三峰の注目すべき蛾

9月5日山中浩、水野透の両氏と共に水銀灯による夜間採集を行なった。その結果当地区は興味ある種の生息する場所であることを知った。筆者採集のものうちつぎの4種は注目される。

### (1) オオシロシタバ

本種は北海道で多量に採集されるが、本州中部山地ではあまりとれず、九州にも産するが稀らしい(北隆館、原色昆虫大図鑑)とされている種で、本県での確実な記録は中川秀幸の樺平、美女平のみである。

### (2) ムラサキアシブトクチバ

暖地性で山地では少ない種である。本県の記録は少なく、中川による有峰、上田了による上市があるのみで、寒地性の前種と混せいすることは興味深い。

### (3) ヒメトガリヨトウ

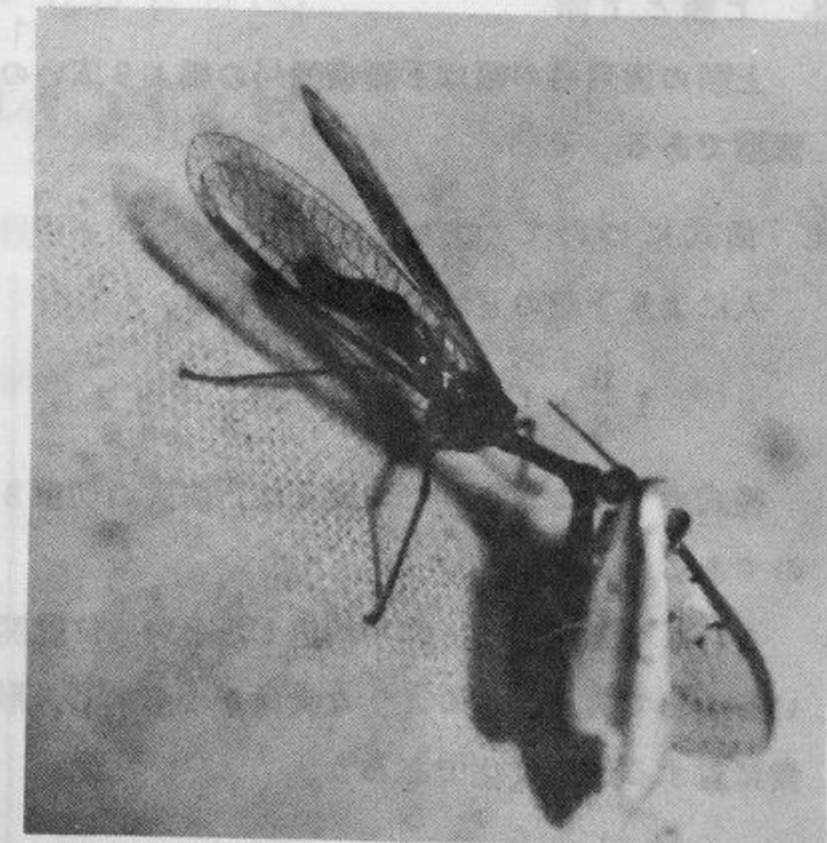
北隆館の原色昆虫大図鑑に9、10月に山地(軽井沢)などに産するが少ないと記載されている種で、本県未記録のものである。ここでは4♂♂を採集した。

### (4) ナチキシタドクガ

上記図鑑に関東以西の山地、平地にいるがあまり多くないと記載されている種で、本県の既知産地は立山美女平、有峰のみである。

## 5. カマキリモドキがメイガを捕える

8月1日、医王山で夜間採集を行なった際、あかりに飛来したカマキリモドキがマエアカスカシノメイガを捕獲した。捕獲の動作は見落としたが新発見になると思う。



マエアカスカシノメイガを捕えたカマキリモドキ